

科目ナンバー：BC5144

授業コード：2230501400

講義科目名称：臨床推論・クリティカルケア演習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	看護師課程選択必修
担当教員			
◎高柳智子、岡村典子、堀江正男、樺澤三奈子、山岸美奈子、◎相澤達也、坂田智佳子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期		【授業時間】 15時間			
	【担当教員】					
	【氏名】		【所属】	【研究室】	【メールアドレス】	
	◎高柳 智子 cn.ac.jp		新潟県立看護大学	203	takatomo@niigata-	
	◎相澤 達也 樺澤 三奈子 cn.ac.jp		新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	共同研究室3 318	aizawa@niigata-cn.ac.jp minako-k@niigata-	
	山岸 美奈子 cn.ac.jp		新潟県立看護大学	共同研究室5	yamagisi@niigata-	
	坂田 智佳子 岡村 典子 堀江 正男		新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	共同研究室3 216 315	sakata@niigata-cn.ac.jp norio@niigata-cn.ac.jp mhorie@niigata-cn.ac.jp	
	実務経験のある教員が担当します					
	【本学の科目区分】 看護師課程選択必修					
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程					
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○						

到達目標	1. 臨床推論の思考プロセスを説明することができる。 2. 救急外来に受診した患者の事例に対して、問診・フィジカルアセスメントの技術を活用し、病態を推論することができる。 3. 集中治療ケアを受ける患者の事例に対して、病態・治療をふまえて必要な観察・アセスメントを行うことができる。 4. 集中治療ケアを受ける患者の事例に対して、健康状態の回復を促進するための看護援助を計画することができる。 5. クリティカルケア領域において、看護師と連携する他職種の役割と看護師の専門性について説明することができる。 ※各到達目標の具体的内容は、初回授業で配布予定の演習要項を参照
授業概要	クリティカルケアを受ける患者の事例展開を通して、クリティカルケアにおける臨床推論と看護実践の基礎的能力を習得する。アクティブラーニング型授業とし、フィジカルアセスメントスキルを活用するシミュレーション教育やグループワーク・グループディスカッションにより学修を進める。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義・演習（グループワーク・グループディスカッション） 学修課題：臨床推論の思考プロセス、救急外来に受診した患者事例の臨床推論① 学修内容：臨床推論の思考プロセス、救急外来に受診した患者事例の提示、臨床推論のグループワーク・グループディスカッション 事前学修：必携図書p2からp34までを熟読する。 事後学修：事例の症状から予測される病態、および疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 2 授業内容 授業形態：演習（グループワーク・グループディスカッション）

3	学修課題：救急外来に受診した患者事例の臨床推論② 学修内容：グループワーク・グループディスカッションによる学習成果の共有、仮説・観察計画の立案 事前学修：事例の症状から予測される病態、および疑問点・不明点について調べる。ワークシート様式2「問診・観察・検査項目」の欄を記載する。 事後学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 授業内容 授業形態：演習（シミュレーション・デブリーフィング）・講義 学修課題：救急外来に受診した患者事例の臨床推論③ 学修内容：救急外来に受診した患者への問診・フィジカルアセスメント(シミュレーター使用)、グループでのデブリーフィングとアセスメント、専門家レクチャー 事前学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシート様式2「理由・留意点」、様式3-1「問診・観察・検査項目」の欄を記載する。シミュレーターを用いてフィジカルアセスメントのトレーニングを行う。 事後学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。シミュレーターを用いてフィジカルアセスメントのトレーニングを行う。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 石井 授業内容 授業形態：演習（グループワーク・グループディスカッション） 学修課題：集中治療ケアを受ける患者事例の臨床推論① 学修内容：集中治療ケアを受ける患者事例の提示、臨床推論のグループワーク・グループディスカッション 事前学修：疑問点・不明点について調べる。 事後学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 授業内容 授業形態：演習（グループワーク・グループディスカッション） 学修課題：集中治療ケアを受ける患者事例の臨床推論② 学修内容：グループワーク・グループディスカッションによる学習成果の共有、仮説・観察計画の立案 事前学修：事例の疾患・治療内容、および疑問点・不明点について調べる。ワークシート様式4「観察・検査項目」「理由・留意点」の欄を記載する。 事後学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 授業内容 授業形態：演習（シミュレーション・デブリーフィング） 学修課題：集中治療ケアを受ける患者事例の臨床推論③ 学修内容：集中治療ケアを受ける患者への問診・フィジカルアセスメント(シミュレーター使用)、グループでのデブリーフィングとアセスメント、専門家レクチャー 事前学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシート様式5-1「観察・検査項目」の欄を記載する。SBARを用いた報告の方法について調べる。シミュレーターを用いてフィジカルアセスメントのトレーニングを行う。 事後学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。シミュレーターを用いてフィジカルアセスメントのトレーニングを行う。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 ゲストスピーカー2名 授業内容 授業形態：演習（グループワーク・グループディスカッション） 学修課題：集中治療ケアを受ける患者事例の臨床推論④ 学修内容：看護援助計画の立案 事前学修：疑問点・不明点について調べる。 事後学修：疑問点・不明点について調べる。ワークシートの追記・修正を行う。「発表用 看護援助計画用紙」をグループで1枚作成し提出する。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 授業内容 授業形態：演習（成果発表・ディスカッション） 学修課題：成果発表・まとめ 学修内容：看護計画の発表とディスカッション、専門家レクチャー 事前学修：疑問点・不明点について調べる。「発表用 看護援助計画用紙」をグループで1枚作成し提出するとともに、発表準備を行う。 事後学修：ワークシートの追記・修正を行う。「クリティカルケア領域において看護師と連携する他職種の役割と看護師の専門性」について、課題レポート用紙に1600文字程度でまとめる。 備考：高柳 樺澤 相澤 山岸 坂田 岡村 堀江 ゲストスピーカー2名
評価方法、評価基準	到達目標1～5に対して、次の項目により評価する。 ・グループディスカッション/グループワークならびにシミュレーション/デブリーフィングへの貢献度（30%） ・最終提出物＜ワークシート、課題レポート＞（25%） 到達目標2～4に対して、次の項目により評価する。 ・事前・事後学修の遂行状況（25%） 到達目標4に対し、次の項目により評価する。 ・成果発表（20%）
必携図書	道又元裕 編集（2023）：看護判断のための気づきとアセスメント 急性期看護，中央法規.
参考図書・資料等	小澤知子 編著（2019）：アセスメントに自信がつく臨床推論入門 看護の臨床判断能力を高める推論トレーニング，メディカ出版. 小野田千枝子 監修（2008）：実践フィジカルアセスメント，第3版，金原出版. 山勢博彰他（2020）：クリティカルケア看護学，第2版，医学書院. 山勢博彰他（2024）：救急看護学，第7版，医学書院.

受講、課題、資料配布等のルール	各回の事前・事後学修を各自で行ったうえで受講する。学修成果の共有のために、授業前に各自の配布資料を人数分準備すること。20分以上の遅刻は欠席扱いとし、原則として補講は実施しない。実習室での演習や実習室での自己練習の際には、臨床実習と同様にユニフォーム・ナースシューズ着用とし身支度を整えて行う。
教員からのメッセージ	多領域の教員がクリティカルケアに従事する臨床看護師(ゲストスピーカー)とともに演習を担当し、3年次までの学びを統合した臨床推論力の育成を目指します。主体的な学修と、グループワークやデブリーフィングでのメンバーシップが目標到達への鍵になります。
オフィスアワー	事前に連絡が必要(メールも可)